

# 音声データから文字起こし

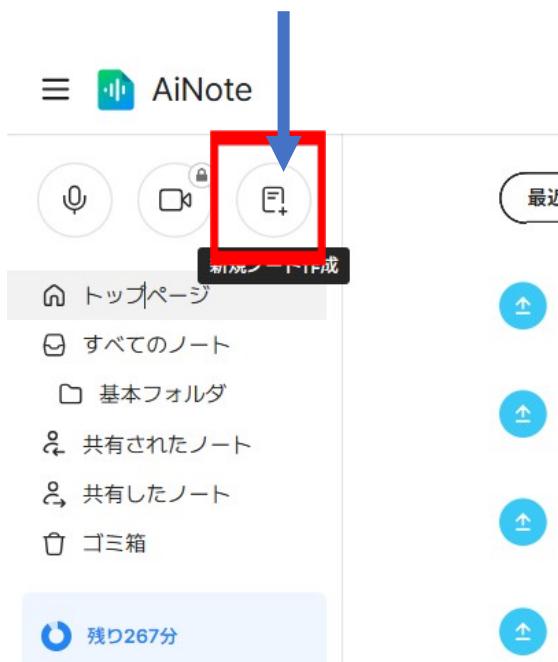
## LINEWORKS AiNote

必要なもの・・・

音声データ、LINEWORKSへのアカウント登録、LINEWORKS AiNote無料プランの「購入」

※初期設定が大変面倒です。導入の際は、  
巻末資料を参考に進めてみてください

- ① 「LINEWORKS AiNote」にログインし、  
左側の「新規作成」をクリック



- ②準備している音声ファイルをアップ  
ロードする



# 音声データから文字起こし

## 模擬カンファレンスで実演

設定：利用者「亀尾さん」のケアプランの更新にあたって、目標の再確認

登場人物：介護支援専門員、本人（亀尾さん）、息子、看護師、療法士、訪問介護員、福祉用具専門相談員

まずは少し音声を聞いてください

この音声を文字に起こしてみましょう 実演

### 「LINEWORKS AiNote（無料プラン）」の機能制限・注意点

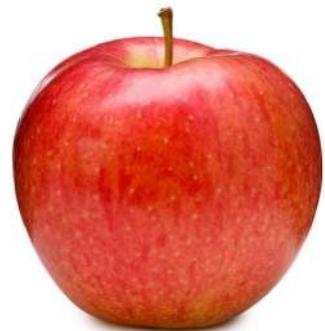
- ① 1回あたりの音声は60分以内
- ② 1か月の合計文字起こし時間は300分以内（毎月1日0:00にリセット）
- ③ AI要約機能使用不可
- ④ 有料プランに移行すると、無料プランへ戻すことはできない
- ⑤ ログインor契約（無料含む）が無い状態が60日続くと、アカウントが消滅（自動退会）してしまう

# 生成AIを日々の業務に取り入れてみる

## 生成AIとは・・・

コンテンツ（判断、意見、作品など）を自動的に作り出すことのできる人工知能

お題： A B C に任意の単語を入れて、文章を作ってみてください



のBはC

人は「記憶」や「経験」から 答えを「推測」している  
AIは「膨大な統計」や「学習結果」から  
AIの「作品」には（にも）、必ず“元ネタ”がある

# 生成AIを日々の業務に取り入れてみる

## 生成AIは「嘘・ごまかし・見せ方の天才」

お題：皆さんが担当している要介護2の利用者を一人、頭に浮かべて  
その人のケアプランを思い出してください。

実演

不確実な情報に対しては  
適当にそれっぽい回答をしてしまう



「ハルシネーション」という現象 (特性)

AIではなく  
使う側の問題

GIGO：ゴミを入れるとゴミが出てくる  
(Garbage in, garbage out)

生成AIを使いこなすコツ ⇒ ハルシネーションをいかに防ぐか、見抜くか

プロンプト（指示）がとても重要